

実習感想文

岡山大学医学部 5回生
Tさん

【期間】

2014-3-21

【感想】

ももたろう往診クリニックで初めにタブレットを渡され、これを使えばどこからでも電子カルテが見れると言われたときから、在宅診療での不便な部分をなるべく補おうとされているのが伝わってきました。手持無沙汰になりそうな移動時間の方も有効に活用されていて、先生はパソコンでずっと業務を行われていました。(やっぱり酔うそうでしたが) 電子データを有効利用しつつ、場合によってはFAXを用いたり、ネット経由で薬剤師にデータを送ったり、患者さんの家での文書保存用に携帯プリンターを使われているなど、距離と物の不足を感じる事のない往診活動だったと思います。

また、往診では患者さんの家に入らせていただくことにより、普段の生活や、家族との関わりまで垣間見ることができたのが大きかったです。病院と違って、どの家も、それぞれの家の持ち味のような物を持っていました。家の人大切にされているものや、飾らない普段の生活の一部に触れるというのは、患者が、周囲との関係の中で生きているのだという事を再確認させられました。

最後に、小森先生と渡辺看護師には、移動中も様々な話を聞くことができ、(自宅での看取りの話、水分調整の話、プライマリーケアの重要性、在宅医療の現在について etc・・・)自分の見聞を広める良い機会になりました。今まで大学病院で実習をしては見えないことを教わり、大変ありがたかったです。

一年で1000件以上の夜間の電話対応、100件以上の夜間往診をこなされて、車で20分圏内の岡山市内だけでなく、時に西大寺の方まで幅広い地域をカバーされている現状には驚嘆と畏敬の念を感じてやみません。

今年4月から常勤医師が一人増えるということで、小森先生並びにスタッフの方の負担が少しでも減ることをお祈りします。

お忙しい中、往診に同行させて頂き、ありがとうございました。